

## 1まいの写真をめぐる 交わされたメールから

インターネットにHP「すずき産地」を開いて、もうすぐ10年になります。その最初から掲載しているのが、以前にも紹介したことがあるけど下の写真です。この写真をめぐって、ネットで交わされたやりとりを紹介します。

### ●岡山の赤木さんから

すずき産地さんのHPのぞきました。へえ～そうなんだ、などと思いながら見ていたら、いつの間にか迷い込んで開いたページには「ハゲワシと少女」という写真が載っていました。スーダンの少女が空腹で力尽きているのを、ハゲワシが狙っている写真です。

そのスーダンからは、主食のソルガムという穀物を家畜の餌として日本は買い付けているらしい。貧しい国の主食を奪って飢餓に陥れ、自国の田畑は耕作放棄して、もっとラクで豊かな暮らしを追いつけているわが国。

井上ひさしさんによると、自分達の食べ物は、どこかの誰かがいつまでも作りつづけてくれると信じてやまないのが日本人だと。そんなことも書いてあった。徐々に身体がカツと熱くなるほどの衝撃でした。

前述の写真を目に焼き付けるほど見ました。なんかこう今の自分はこれでいいのかと、自問自答を始めるほど強烈でした。きっと現状に甘んじて今の生活から抜け出すほどの元

気も勇気も今の私にはないでしょう。できることといったら何だろうか。地上に暮らす一人として身近なところでは何をすればいいのだろう。

とりまとめることのできない感情が脳の中を通り過ぎてゆくほどショッキングな写真でした。すずき産地さん、ありがとうございました。



「ハゲワシと少女」 撮影:ケビン・カーター

### ●兵庫のやまちゃんから

スーダンのような国からも穀物(飼料)を輸入しているとは、お金に顔はないとはいえちょっとやりきれない思いです。

### ●福井の中出さんから

この写真を、過去に私は見ていました。ソルガムは中国では「コーリヤン」というらしく、日本に在る物で



### 里のギャラリー

は「キビ」に似ているのではないかと思います。その時は飼料作物ということで当事国は輸出したのですが、今はバイオエネルギーの原料としても注目されていると聞いています。

石油で大もうけをしている国の若者は定職にも就かずギリギリ状態。かたや、食料自給率40%を切ったといっても一向に危機感を持たないどこかの国の人々は高いガソリンに四苦八苦。そのような国自体が、写真の少女のようなるかも、。。

### ●神奈川の笹村さんから

あしがら農の会の笹村です。赤木さん、鈴木さんのおもいに、私も揺り動かされます。

日本がこのままでは、どうにもならない。この迷走飛行の軟着陸地点は、農業にしかない。そう思って、農業を始めました。そして、あしがら農の会を始めました。

何故か、こんな日本ではあります。心底農業が好きだという若者たちがたくさんいます。その若者を手助けすることが、未来におもいを繋ぐ事だと、考えています。